

2020年5月25日

高速デジタルフルカラー複合機「RICOH IM C8000/C6500」を発売 ～最新のクラウドサービス対応と使いやすさ向上で業務効率化に貢献～

株式会社リコー（社長執行役員：山下良則）は、高速デジタルフルカラー複合機の新製品として「RICOH IM C8000」「RICOH IM C6500」2モデルを5月29日に発売します。

新製品は、2016年10月発売の「RICOH MP C8003 SP/C6503 SP」の後継機種で、複合機や電子黒板、カメラなどのエッジデバイスを、クラウドプラットフォーム「EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES プラットフォーム」を介して各種クラウドサービスと組み合わせ、オフィスワークの自動化・省力化を推進する「RICOH Intelligent WorkCore」に対応する高速デジタルフルカラー複合機です。

オフィス向けデジタルフルカラー複合機の最上位機種として片面・両面同速 80 ページ/分*の高速出力、4,800dpi 相当×1,200dpi のクリアな表現、多様な後処理オプションにより、高い生産性と高画質を実現しています。スキャナ機能を強化し、OCR 処理速度がさらに向上したほか、PDF など電子データ生成時の生産性が向上しました。

使いやすさを向上させた 10.1 インチの大型フルカラータッチパネル新「MultiLink-Panel」を搭載し、画面との段差をなくしたフルフラットパネルにすることで、端部のアイコンも押しやすくなったほか、各種設定画面やアプリケーションのユーザーインターフェースも改善し、角度が調整できるチルト機構を採用した操作パネルを搭載する等、より使いやすい操作部を実現しました。新たに複合機本体の導入後も基本性能を最新の状態にアップデートできる「RICOH Always Current Technology」にも対応しています。

Z 折りや三つ折り、重ね折りなど様々な折り種類に対応した紙折りユニットをはじめ、多機能フィニッシャー、大量給紙トレイ、プリントポスト、インサートフィーダーなどお客様のニーズに合わせた多彩なオプションをご用意します。紙・デジタルのドキュメントを扱うさまざまな業種・業務において、オフィスのセンターマシンとして入出力に関わるさまざまな業務の効率化を支援します。

* RICOH IM C8000 の場合。RICOH IM C6500 は片面・両面同速 65 ページ/分。ともに A4 ヨコ。

製品名	RICOH IM C8000	RICOH IM C6500
最大複写サイズ	A3	
連続複写速度 (A4ヨコ)	80枚/分 (フルカラー・モノクロ)	65枚/分 (フルカラー・モノクロ)
コピー/プリンター/スキャナ	標準	標準
ファクス	オプション	
標準価格 (消費税別)	4,140,000円	3,120,000円
発売日	2020年5月29日	

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806 (直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp
 お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL : 0120-892-111



RICOH IM C8000
(オプションを装着したもの)

<新製品 RICOH IM C8000/C6500 の主な特徴>

1. 高い生産性でオフィス業務を効率化

- RICOH IM C8000/C6500の連続複写速度は、片面・両面同速でカラー、モノクロともに80ページ/分^{*1}、65ページ/分^{*1}の高速処理を実現しており、大量出力業務に対応します。さらに、RICOH IM C8000/C6500を2台接続し、同時に出力することで高速連続出力が可能^{*2}です
- 一度の搬送で両面の同時読み取りが可能な1パス両面ADFの両面読み取り速度が、従来機と比較して向上しました。フルカラー・モノクロともに片面120ページ/分^{*3}、両面240ページ/分^{*3}の高速スキャンが可能で、紙文書をスピーディーに電子化することで業務を効率化します。

*1 A4ヨコ送り、連続印刷時。 *2 オプションの連結キットタイプM25が必要です。

*3 A4ヨコ、100/200/300dpi文字モード。原稿サイズ混載時は除く。

2. クラウド対応による拡張性とセキュリティ機能

- 複合機や電子黒板、カメラなどのエッジデバイスを、クラウドプラットフォーム「EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES プラットフォーム」を介して各種クラウドサービスと組み合わせ、オフィスワークの自動化・省力化を推進する「RICOH Intelligent WorkCore」に対応します。Dropbox、Google Drive™、OneDrive®などのクラウドストレージ連携サービスやWebアドレス帳との連携サービス、AI(人工知能)機能を搭載したOCRサービス、さらにそれらを組み合わせ、お客様の業種業務に対応したさまざまなソリューションを提供します。
- 複合機本体の基本機能を最新の状態にアップデートしたり、機能追加が行える「RICOH Always Current Technology」に対応しました。これにより、最新のクラウドサービスとの連携が可能のほか、導入時期が異なる機種間での機能統合や最新のセキュリティ機能の実装などに対応できます。

3. ユーザーインターフェースの改善で使いやすさを向上

- ・直感的な操作が可能な 10.1 インチの大型フルカラータッチパネル新「MultiLink-Panel」を搭載。クリックやドラッグなどの操作感がさらに向上しました。また、どなたにも快適に操作いただけるように、新たに角度が調整できるチルト機構を採用しました。
- ・設定画面のインターフェースを一新。従来は操作部設定と本体設定に分かれていた項目を統合しました。カテゴリの見直しに加え、検索機能を搭載。管理者がスムーズに設定を行うことができます。また、トナー交換時などの操作説明が実動画で表示できるようになり、より使いやすくなりました。

4. 多彩なオプションで高付加価値なドキュメント出力が可能

- ・紙折りユニットをはじめ、多機能フィニッシャー、大量給紙トレイ、プリントポスト、インサートフィーダーなどお客様のニーズに合わせたオプションにより業務の効率化を実現します。
 - ・多彩な紙折りができる「紙折りユニット FD4010」は、約 20 センチとコンパクトサイズながら、出力紙を二つ折り、Z 折り、内三つ折り、外三つ折りすることが可能です。さらに、3 枚までの重ね折りにも対応*4し、封入作業などもスムーズになります。
 - ・「紙折りユニット FD4020」は、さまざまなサイズの出力紙を Z 折り、二つ折り、外三つ折り、内三つ折り、単純四つ折り、観音四つ折りや重ね折り*5することが可能な高機能な紙折りユニットです。印刷後に折る手間がなくなり、業務効率が高まります。
- *4 内三つ折り、外三つ折りに対応 *5 二つ折り、内三つ折り、外三つ折りに対応

5. 出力機器のリモート管理サービスに対応*6

- ・各種トラブルや操作方法が不明な場合にお客様の操作パネルを遠隔で確認・操作して問題を解決する遠隔サポートをはじめ、機器のダウンタイムを最小化するための最新のサポート機能を搭載しています。また、お客様の機器を常時監視するリモート管理サービスを通じて取得した稼働状況などのビッグデータを人工知能(AI)で分析することで、トラブルの未然に防止します。
- *6 パフォーマンス契約の場合。

※Dropbox は、Dropbox, Inc.の商標です。

※Google DriveはGoogle LLC.の商標です。

※OneDriveは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※その他、会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2020年3月期リコーグループ連結売上は2兆85億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>